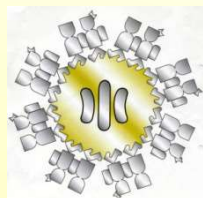


学校だより



あさひ No.5

令和5年6月23日
真室川町立真室川あさひ小学校

【校訓】

磨けば光り輝く

【教育目標】

あいされ ささえあい ひとみ輝く
あさひっ子の育成

体験活動が生きる力に！

3月末、文部科学省から、体験活動についての調査報告書が公表されました。小学生は、自然体験、文化的体験、社会体験等を重ねることは、以下のような力を身に付けるために、プラスの効果があるということです。

- 自分の目標に向けて、ねばり強く取り組む。
- やり方を調整して工夫する。
- 友達と同じ目標に向けて協力する。



野外活動クラブ「火おこし体験」6月21日

また、体験活動は「自尊感情」「精神的回復力」「がまん強さ」を高めるために有効だということです。これらは、これからの時代を豊かに生きていくために、大切な要素です。あさひ小学校では、「ふるさと学習」を核にして、これからも体験活動に取り組んでいきます。

ふるさと学習の様子より

1、2年生 サクラマス放流

6月21日（水）県水産振興協会 笠原 裕氏、最上漁業協同組合 佐藤 久義氏を講師にお迎えし、サクラマスの放流を行いました。小さな稚魚が海に行ってまた戻ってくることなどを分かりやすく教えていただきました。「稚魚の天敵は何ですか。」「えさは何ですか。」「どれくらいの数が戻ってくるのですか。」などたくさんの質問がありました。



3年生 中村湿原 観察

6月22日（木）中村湿原を守る会代表 高橋 喜久美氏を講師に中村湿原の観察を行いました。ハッチョウトンボ、モリアオガエルの卵、モウセンゴケなど近くでじっくり観察することができました。豊かな自然を守っていくことの大切さについても教えていただきました。また、さまざまな方々の力で環境が維持されていることも知ることができました。



4年生 森林学習

6月21日（水）真室川町立歴史民俗資料館 館長 高橋 剛文氏を講師にお迎えし、町の森林について学習しました。町の林業の歴史、現在の林業の様子、そして現在町の林業に従事している若者の声なども紹介していただきました。森林資源に恵まれている私たちの町の魅力を教えていただきました。子ども達からたくさんの質問が出されました。

